

# やすく

月1日  
や安全  
社を郊  
機械メ  
円(26

# 産

80平  
成し、  
で従業  
移転す  
現本社  
盤、フ  
プレス  
移管。  
トク  
も確保  
住宅地  
は工場  
った。

またコンプレッサー音や機械稼働音によって近隣から苦情を受け、受注が増加すれば近隣への迷惑も増えることから、新工場を建設、移転することにした。

同社は自動車部品の生産ライン向けの搬送機や加工ラインが主力だったが現在は自動車関連の受注が減少。替わって産業車両や産業機械メーカーの自動化に伴う安全設備やメンテナンスの受注が増加している。

渡瀬社長は「近隣に住居がない。トラックなどの出入りもしやすく工場を稼働しやす」とし、今後は社員も15人にまで増員し、受注増に備える。

## 中国社、日本で曲げ機

### 4割安価、今秋に発売

種を9月に発売し、反響を見ながら別シリーズも含めたベンディングマシンの追加投入を検討する。消費税抜き参考価格は1200万円から。日本メーカーの製品に比べて4割程度安く設定する。

本体価格を抑えることで、加工機追加による生産能力増強のハードルを下げる狙い。テーブルサイズは加圧能力130ト機で長さ3

中国ポーターレーザーは電動油圧サーボ式ベンディングマシン「i Bendシリーズ」を日本市場に投入する。加圧能力110ト、130ト、170ト、220トの計4機種

200ミリ、高さ900ミリに設計した。制御システムはオランダのデレム製を採用。国内提案に当たって、キヤドマック（東京都港区）やランテックジャパン（横浜市港北区）のコンピュータ利用設計・製造（CAD/CAM）ソフトウェアの使用を想定している。

オプシオンは、角度補正機能、レーザ安全装置、油圧クランプシステムなどを用意する。発売に合わせて西日本代理店であるスタックドラインファスナーの角田シヨールーム（大阪府東大阪市）に実機を展示する予定。



加圧能力110〜220トまで4機種を投入する

## NEWS CLIP

### スペインから訪日団

アクティオ（東京都中央区、小沼直人社長）は、スペインレンタル協会（訪日団を東京DLセンターに迎え、日本のレンタル業界の取り組みやサービス体制への理解深化を目的に情報交換した。訪日団はスペイン各地域の建設機械・設備レンタル会社の経営者や責任者らで構成。視察ではアクティオの機械管理、サービス体制、現場対応に関する取り組みを紹介した。質疑応答では中東情勢の変化による物流・資材価格への影響などに関する話題が出た。東京DLセンターは同社の首都圏中核拠点で配送、研究開発、人材育成などの機能を兼ね備える。

### 介護施設の様子配信

川崎重工業は介護施設と入居者家族をつなぐ動画配信サービス「つづるムービー」の提供を開始した。介護付有料老人ホーム「ディアージュ神戸」（神戸市垂水区）にサービスを提供する。同サービスは、入居者の近況を家族に動画形式で分かりやすく伝えられるのが特徴。施設と家族のコミュニケーションを支援する。日本マイクロソフトとの共創による独自AI（人工知

能）を活用し、（複製）入居者

# 溶接ロボ 日本に投入

## 中国ボーダーレーザー コスパパ訴求

中国ボーダーレーザーはファイバーレーザー溶接専用の6軸多関節ロボットを日本市場に投入する。出力3キロワットの自社製溶接機とセットで5月に発売する。価格は検討中だが、日本メーカー製に比べて安価にする考え。10月には協働ロボットの発売も予定する。販売代理店などを通じてアフターサービス体制を作り、コストパフォーマンスを訴求して国内市場を開拓する。

ボーダーレーザーは2023年に中国は、自社製振器を搭載したファイバーレーザー加工機を中心に板金関連機械を数多くそろえる。多関節ロボット

は2023年に中国で初めて発売し、月平均10台、累計約300台の納入実績があるという。

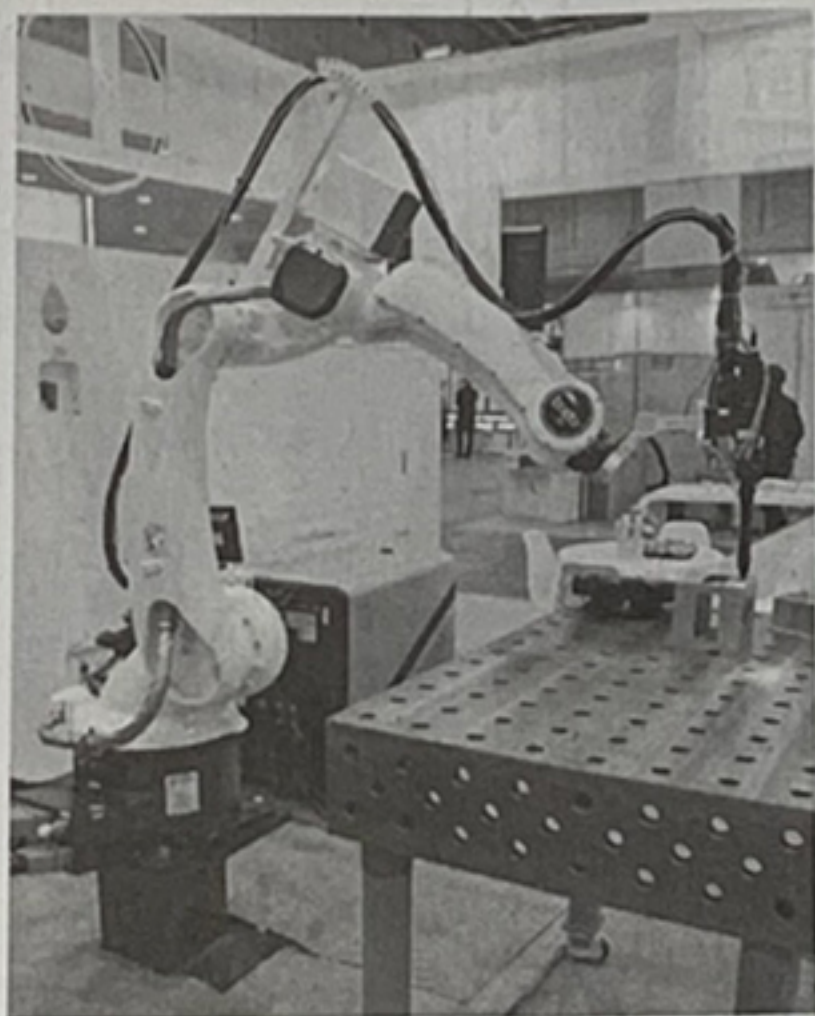
日本に投入するロボ

ット「i welder 18」は、ファイバーレーザー溶接に特化した。出力3キロワットの水冷式溶接機に接続し、最大板厚8ミリに対応する。アームの長さは1

・8メートル。先端に取り付けるレーザーヘッドも同社製を使用する。

西川社長は「ロボットのセットアップまで

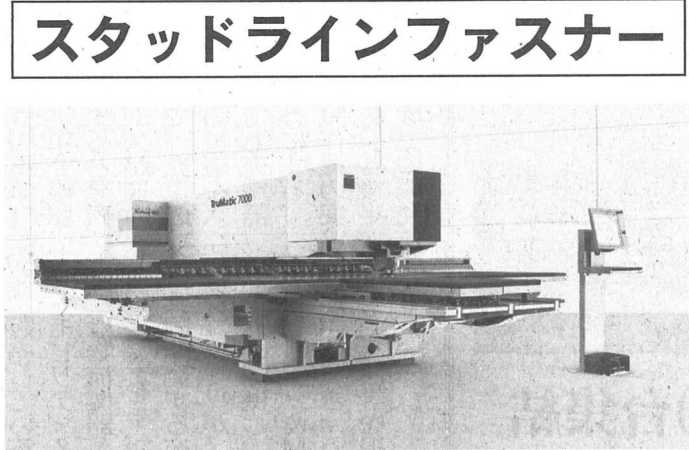
対応できる体制は整っている。修理に対応するために、増員も進める。喜ばれる価格で早く拡大したい」と話す。



▲金型専門展示会「インターモールド」で国内初披露した

# 独・中国製を一括提案

## 板金加工機 低コスト・メンテ拡充



トルンプ製パンチ・レーザー複合加工機も提案する

スタッドラインファスナー（大阪府東大阪市、西川博文社長）は、4月から独トルンプ製タレットパンチプレス機と中国ボーダーレーザー製ファイバーレーザー加工機のパッケージ提案を始める。国内メーカー製の板金加工機に比べて購入費用を抑え、新規導入や買い替えのハードルを下げる。2028年12月期までに修理やメンテナンスに対応できる営業技術スタッフを現行比2・7倍の16人程度に増やす。年間10億の受注を目標とし、26年12月期の売上高で前期比37・5%増の5億5000万円を目指す。

国内メーカー製が高額で導入をためらう板金加工業者者に「新たな選択肢」（西川社長）を提案する。

ボーダーレーザーは自社製の発振器を生かした豊富なラインアップが強い。一方のトルンプも発振器を含めてファイバーレーザー加工機の機械を連動し、1枚の板の上に複数の部品形状を割り付ける。ステンディングなどのデータ連携が容易になる。

ボーダーレーザー製品の導入検討で板金加工業者が懸念する修理とメンテナンスに対し、スタッドラインファスナーは専門スタッフが3人配備しており、今後増員する計画。

西日本から全国に販売を広げる一環として、25年秋から大手卸売商社と連携を開始した。

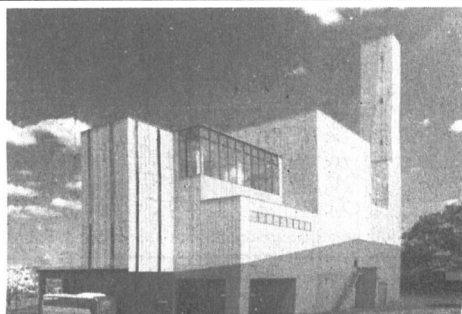
パッケージ提案の開始に合わせて、4月15日から大阪市内で開かれる展示会「インターモールド」にボーダーレーザーと共同出展し、実機を紹介する。

最大加圧能力165kgfの「TruPunch2000」と、ボーダーレーザーが入門型と位置付ける「Aシリーズ」を組み合わせた場合、運搬・設置費を除いた消費税抜き価格は1億円程度という。

キヤドマック（東京都港区）やランテックジャパン（横浜市港北区）が提供するコンピュータ利用設計・製造（CAD/CAM）ソフトウェアも価格に含める。同ソフトでトルンプとボーダーレーザーの機械を連動し、1枚の板の上に複数の部品形状を割り付ける。ステンディングなどのデータ連携が容易になる。

## 神奈川にゴミ処理場

JFEエンジ、245億で受注  
設計・施工と運営 一括受託



JFEエンジニアリング（東京都千代田区、福田一美社長）は30日、神奈川県足柄上

衛生組合から一般廃棄物処理施設の整備運営事業を受注したと発表。消費税込みの受注額は245億7400万円。ストーカ式焼却炉2炉の設計・施工

3月、運営

## スタッドラインファスナー

## シンガポールで受注

### ゴミ焼却発電ボイラ改造

三菱重工

三菱重工はシンガポール子会社のMHIアス地区の「チユアス10」12月期に完工予定

2027年実現する。2027年重工業環境・化学エンジニアリングの設計・施工で00年に完成。処理能力は1日当たり3000tで、NEAが運転・保守管理を担当している。

今回の改造では三菱重工環境・化学エンジニアリングの設計・施工で00年に完成。処理能力は1日当たり3000tで、NEAが運転・保守管理を担当している。

MHI ECは1986年に運転を開始した事業運営や運転支援を含めたアフターサービスも行う予定。

の廃棄物焼却発電施設の納入実績を持つ。

同国では、従来の機器供給・施設設計・施工だけでなく、施設の事業運営や運転支援を含めたアフターサービスも行う予定。

## 単一素材PTPにCKD、ブリスター包装

【名古屋】CKDは流通していない。CKDはリサイクル性の高いモノマテリアル（単一素材）PTPに対応するブリスター包装技術を開発した。国内初という。錠剤を収める容器側とふた側のシートを、熱と圧力をかけて貼り合わせる。モノマ

リサイクル性の高いモノマテリアル（単一素材）PTPに対応するブリスター包装技術を開発した。国内初という。錠剤を収める容器側とふた側のシートを、熱と圧力をかけて貼り合わせる。モノマ

流通していない。CKDは医薬品、材料メーカーと連携して製造プロセスを重ね、早期の実用化を目指す。

CKDが手がけるブリスター包装機は容器品質を確保する。新